

要 望 書

この度、私たちが練習を行っております蔵本弓道場の一部改築をお願いしたく、本要望書を提出いたします。理由は以下の通りです。

現在の弓道場は今から 25 年以上前に建築された古いものですが、これまでに床の葺き替など何度か改修をしていただき、おかげで練習も十分こなすことができ、西医体等で優勝するなどよい成績をあげて参りました。ただ、そのような成績の向上と比例するように部員数が年々増加してきたために、弓道場の相対的な狭隘化が進み、満足のいく練習を行うことが困難になってきました。これまで練習の曜日や時間等をやりくりしてなんとかやってきましたが、今年は特に新入部員が多かったため、総部員数が約 60 人となり、弓道場からあふれてしまうようになりました。昨年までは隣接する空き地を使って射形の練習やわら打ちなどの練習をすることもできたのですが、そこに建物ができたために、それも不可能となりました。このような状況のため練習にも支障をきたし、今年の西医体でもよい成績をあげることができませんでした。

これまで私たちも整理整頓など、弓道場の有効活用に努めて参りましたが、「狭い」という物理的な限界は如何ともし難く、部員が多すぎて部活動ができないという皮肉な状況です。さらに人が多いために矢を射る部員のすぐ近くで多くの部員が控えていなくてはならず、重大な事故につながる危険性もあります（別紙 1、2）。そのようななった場合、私たち学生だけでは責任をとることができません。弓道場の改修によって改善ができると考えますが、現在の弓道部にはその経費をまかなう力がありません。そこで、以下の点を具体的に改修して頂きたいと考えています。

・弓道場の電力容量の増量

活動時間が平日は 17:30-19:30 であり、冬場は周囲がすでに暗い状況にあります。この中で練習するためには照明が必要なのですが、この照明によって電力が大幅に消費されてしまい、暖房器具をつけるとブレーカーが落ちてしまいます。このため、部員たちは暖房器具もまともに使えず、非常に寒い厳しい状態で練習を行っています。

・弓道場（居住空間）の拡張

別紙 1、2 に示しました通り、部員が多すぎて行射中の部員のすぐ近くに他の部員が控えている状態です。移動するのにもスペースが無く、動線が確保できていないのが現状です。弓道は弓矢という武器を用いるとても危険なスポーツです。新年度からは新入生が入部し、さらに部員が多くなることが考えられます。早急に拡張し、現状を改善して頂きたいと考えています。

・弓道場（安土スペース）の拡張

弓道場には居住空間のほかに、的を立てる安土というスペースが存在します。前述のとおり、部員数が多すぎて普段の練習でも十分な練習量が確保できない状態です。居住空間の拡張と共に、この安土スペースの拡張もして頂きたいと考えています。現在の安土では的は最大で六的しか立てることが出来ません。正規練では全員が 20 本の行射を行うことを目標としていますが、現状ではその半分しかこなすことの出来ない日もあります。自主練でその練習不足分を補うことを推奨していますが、自主練でも人が多い状況が多々あり、不足分をこなすことが出来ないこともあります。

以上のような状況に鑑み、誠に恐縮ですが、安心して練習に打ち込めるよう、早急に蔵本弓道場の改築をして頂きたく、要望書を提出する次第です。何卒、よろしくお願い致します。

2013 年 1 月 23 日

徳島大学蔵本弓道部 主将
医学部医学科 3 年 浅井翔太